

令和元年度
三条市幼児教育推進プラン実施状況

令和2年7月
三条市教育委員会 子育て支援課

- ※ 「小学校等」は市内小学校及び義務教育学校前期課程を指し、「中学校等」は市内中学校及び義務教育学校後期課程を指す。
 ※ [幼保・ア]は幼稚園及び保育所(園)のアンケート結果を、[小学・ア]は小学校のアンケート結果を、それぞれ示す。

《重点項目1》 幼児教育内容の一層の充実

施策(1) 「遊び」を通した豊かな教育活動

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果																																					
① 運動遊びの推進(新規・強化)	<p>【「運動遊び」の推進と研修】 保育所(園)における「運動遊び」に対する理解を深め、施設での実践につながるよう「三条市版運動遊びプログラム」活用の促進、また、子どもの日常生活にも取り入れられるよう、保護者への啓発を図った。</p> <p>●保育所(園)の研修及び実践活動 ○自然体験活動研修会 ・講師 小林 良範氏 (にいがた里山研究会理事長) ・実施日 5/16、9/10、1/10 (各1時間30分程度) ・内容 大崎山の自然の知識、会の活動内容等 ・参加者数 延べ57人 ○大崎山自然体験活動 ・公立保育所9施設において3回(春・秋・冬)ずつ実施</p> <p>●保護者への啓発 ○「三条版運動遊びプログラム家庭編」配布 ・時期 令和元年4月 ・対象 三条市内幼稚園、保育所(園)等の年少児保護者 ・配布数 872部</p>	<p>【運動遊びの研修と実践】 市作成の「三条版運動遊びプログラム」により、多様な動きが経験できるように様々な遊びを日常の実践に取り入れ、子ども達の体力向上や意欲を育むことに努めた。</p> <p>●「三条版運動遊びプログラム」の活用状況 【幼保・ア】 活用している保育者の割合</p> <table border="1" data-bbox="1308 715 2033 837"> <thead> <tr> <th>ア</th> <th>80%以上</th> <th>50~80%未満</th> <th>50%未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>6 (19%)</td> <td>19 (62%)</td> <td>6 (19%)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>8 (26%)</td> <td>17 (55%)</td> <td>6 (19%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【幼保・イ】 「運動遊び」の意図的展開の状況 ※ 文部科学省「幼児期運動指針」では、「手伝い」等を含めて1日60分の運動を推奨 ※ 1日の設定保育時間内の運動遊びの平均 年少児20分以上、年中児25分以上、年長児30分以上</p> <table border="1" data-bbox="1308 1034 2033 1321"> <thead> <tr> <th>イ</th> <th>意図的な実施</th> <th>R1</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">年少児</td> <td>実施した</td> <td>28 (90%)</td> <td>27 (87%)</td> </tr> <tr> <td>実施しなかった</td> <td>3 (10%)</td> <td>4 (13%)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">年中児</td> <td>実施した</td> <td>29 (93%)</td> <td>26 (84%)</td> </tr> <tr> <td>実施しなかった</td> <td>2 (7%)</td> <td>5 (16%)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">年長児</td> <td>実施した</td> <td>28 (90%)</td> <td>28 (90%)</td> </tr> <tr> <td>実施しなかった</td> <td>3 (10%)</td> <td>3 (10%)</td> </tr> </tbody> </table>	ア	80%以上	50~80%未満	50%未満	R1	6 (19%)	19 (62%)	6 (19%)	H30	8 (26%)	17 (55%)	6 (19%)	イ	意図的な実施	R1	H30	年少児	実施した	28 (90%)	27 (87%)	実施しなかった	3 (10%)	4 (13%)	年中児	実施した	29 (93%)	26 (84%)	実施しなかった	2 (7%)	5 (16%)	年長児	実施した	28 (90%)	28 (90%)	実施しなかった	3 (10%)	3 (10%)
ア	80%以上	50~80%未満	50%未満																																				
R1	6 (19%)	19 (62%)	6 (19%)																																				
H30	8 (26%)	17 (55%)	6 (19%)																																				
イ	意図的な実施	R1	H30																																				
年少児	実施した	28 (90%)	27 (87%)																																				
	実施しなかった	3 (10%)	4 (13%)																																				
年中児	実施した	29 (93%)	26 (84%)																																				
	実施しなかった	2 (7%)	5 (16%)																																				
年長児	実施した	28 (90%)	28 (90%)																																				
	実施しなかった	3 (10%)	3 (10%)																																				

		<p>【幼保・ウ】 「運動遊び」の日常の園内外生活への実践</p> <p>※ 子どもが楽しく体を動かしながら遊ぶ中で、多様な動きを経験するための環境構成や実践方法を工夫した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ウ</th> <th>R 1</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実践している</td> <td>29 (94%)</td> <td>29 (94%)</td> </tr> <tr> <td>実践していない</td> <td>2 (6%)</td> <td>2 (6%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【幼保・エ】 「運動遊び」の保護者への啓発</p> <p>三条版「運動遊びプログラム」家庭編を配布するとともに、家庭での実践につながるよう保育参観等で紹介した。</p> <p>※ 啓発の方法（次のうちどれだけ実施したか。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育参観で「運動遊び」を公開 ・親子の「運動遊び」を紹介し実践する機会を持った。 ・「運動遊び」の大切さや園内の実践について保護者に説明 ・「運動遊び」の大切さや園内の実践について保護者へおたより <table border="1"> <thead> <tr> <th>エ</th> <th>3つ以上</th> <th>1～2つ</th> <th>啓発なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 1</td> <td>15 (48%)</td> <td>15 (48%)</td> <td>1 (4%)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>13 (42%)</td> <td>17 (55%)</td> <td>1 (3%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体としては、「三条版運動遊びプログラム」を用いる場面が少なくなるなど(ア)、保育活動における「運動遊び」の意図的な実践及び日常活動への自然な取り入れはおおむね浸透してきているほか(イ・ウ)、保護者への啓発も徐々にではあるが進みつつある(エ)。 ・しかし、「運動遊び」を「実施・実践していない」とする施設が未だ存在することも事実であり、引き続き、施設での実践を促進していくとともに、家庭での実践のため保護者への啓発にも注力していく必要がある。 	ウ	R 1	H30	実践している	29 (94%)	29 (94%)	実践していない	2 (6%)	2 (6%)	エ	3つ以上	1～2つ	啓発なし	R 1	15 (48%)	15 (48%)	1 (4%)	H30	13 (42%)	17 (55%)	1 (3%)
ウ	R 1	H30																					
実践している	29 (94%)	29 (94%)																					
実践していない	2 (6%)	2 (6%)																					
エ	3つ以上	1～2つ	啓発なし																				
R 1	15 (48%)	15 (48%)	1 (4%)																				
H30	13 (42%)	17 (55%)	1 (3%)																				

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果												
②指導計画の改善・充実 (継続)	<p>【「保育のガイドライン」の活用状況の把握等】 国の保育所保育指針に基づき、平成30年3月に「保育のガイドライン」を作成した。このガイドラインの下、各保育所(園)において実践されるよう、個別・具体的取組等に係る相談や支援、並びに実施状況を確認した。 ※ 保育所(園)へのアンケートにより年度末に実施。結果は右記のとおり</p>	<p>【「保育のガイドライン」の活用】 市作成の「保育のガイドライン」について、各保育所(園)の実情に合わせて、保育計画の作成や保育実践の指針とした。</p> <p>● 「保育のガイドライン」を活用している保育者の状況</p> <p>[幼保・オ] 保育活動におけるガイドラインの活用度合い別の割合</p> <table border="1" data-bbox="1285 440 2123 561"> <thead> <tr> <th>オ</th> <th>80%以上</th> <th>50%以上～80%未満</th> <th>50%未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>8 (26%)</td> <td>19 (61%)</td> <td>4 (13%)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>9 (29%)</td> <td>16 (52%)</td> <td>6 (19%)</td> </tr> </tbody> </table>	オ	80%以上	50%以上～80%未満	50%未満	R1	8 (26%)	19 (61%)	4 (13%)	H30	9 (29%)	16 (52%)	6 (19%)
オ	80%以上	50%以上～80%未満	50%未満											
R1	8 (26%)	19 (61%)	4 (13%)											
H30	9 (29%)	16 (52%)	6 (19%)											
	<p>【「保育のガイドライン」等に基づく指導計画作成の支援】 公立保育所については、市で作成した「保育のガイドライン」に基づき各保育所において指導計画を作成後集約し内容確認を実施した。私立保育園については、同ガイドラインを指針としつつ各施設の考え方も織り交ぜながら指導計画を作成している。</p>	<p>【「保育のガイドライン」等に基づく指導計画作成、指導の実施・評価】 「保育のガイドライン」等に基づき、各施設において年間指導計画及び月間指導計画を作成した。また、月間指導計画については、実施状況の評価を行い、翌月の指導計画に反映させつつ運用した。</p> <p>[幼保・カ] 実施状況の評価を指導計画に反映したクラスの割合 (幼稚園教育要領等に基づく指導計画の作成・活用)</p> <p>※ 幼稚園教育要領等：幼稚園教育要領、認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針</p> <table border="1" data-bbox="1285 959 2123 1080"> <thead> <tr> <th>カ</th> <th>80%以上</th> <th>50%以上～80%未満</th> <th>50%未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>19 (61%)</td> <td>11 (36%)</td> <td>1 (3%)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>19 (61%)</td> <td>12 (39%)</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	カ	80%以上	50%以上～80%未満	50%未満	R1	19 (61%)	11 (36%)	1 (3%)	H30	19 (61%)	12 (39%)	なし
カ	80%以上	50%以上～80%未満	50%未満											
R1	19 (61%)	11 (36%)	1 (3%)											
H30	19 (61%)	12 (39%)	なし											

<p>③体験活動の充実（継続）</p>	<p>【保育所等と保護者への啓発・支援】 親子の触れ合いを含む体験活動の重要性について啓発するとともに、各保育所（園）における活動を支援した。</p> <p>●保育所（園）の研修及び実践活動 自然体験活動研修会の開催、大崎山自然体験活動における保護者ボランティアの参加勧誘 ※ 「①運動遊びの推進」のとおり</p>	<p>【豊かな体験活動の実施】 自然体験活動等、子ども達が五感を働かせ自然を楽しむ中で、気付きや好奇心を誘発し、普段とは異なる体の動きを促すとともに、保護者の参加により、保護者同士の交流や子どもとの交流を図った。 また、日常の保育の中でも園庭遊びや散歩を意図的に取り入れた。</p> <p>●自然体験活動の実施（※ 「①運動遊びの推進」のとおり） ●日常の保育における実践 [幼保・キ] 豊かな体験ができるよう様々な活動を工夫しているクラスの割合</p> <table border="1" data-bbox="1288 518 2116 638"> <thead> <tr> <th>キ</th> <th>80%以上</th> <th>50%以上～80%未満</th> <th>50%未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>20 (64%)</td> <td>11 (36%)</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>21 (68%)</td> <td>10 (32%)</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	キ	80%以上	50%以上～80%未満	50%未満	R1	20 (64%)	11 (36%)	なし	H30	21 (68%)	10 (32%)	なし
キ	80%以上	50%以上～80%未満	50%未満											
R1	20 (64%)	11 (36%)	なし											
H30	21 (68%)	10 (32%)	なし											
<p>④5領域の教育内容の充実（継続）</p>	<p>【研修会等の情報提供（パワーアップ、発達支援関係等）】 幼稚園教育要領や保育所保育指針等で示されている「5領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）」にわたる教育内容への理解を深めるため、研修の機会を紹介・手配した。</p> <p>●研修会等の情報提供・参加集約 トップセミナー、パワーアップセミナー、育児相談会、初級保育研修、乳児保育等、計15回情報提供 参加者 延べ320人（公立111人、私立206人、課3人）</p> <p>●絵本研修会の実施 期日等 8月（栄庁舎3階大会議室） 講師 加藤 由美子氏（新潟青陵幼稚園長青陵短期大学非常勤講師） 演題 「想像の世界で生きる子どもたち」 対象者 幼稚園・保育所（園）等の保育者、小学校等教職員等29人</p> <p>●食育巡回指導の実施 実施対象等 各保育所（園）29施設（全122回） 3～5歳児（延べ2,675人）、3歳未満児（延べ12人）</p> <p>●食育講座の実施 実施対象等 各保育所（園）28施設の5歳児及びその保護者（全629人） 実施内容 親子で調理実習</p>	<p>【研修内容を活かした教育・保育活動の実施】 研修により自らの教育・保育の専門的知識の向上を図り、習得した内容を活かしつつ、教育・保育活動の充実・実践に努めた。 また、発達や子どもの興味に合わせた絵本の選定や、人数、時間、場所等を工夫して絵本を楽しむ環境づくりを行った。 さらに、食への興味や関心を高めるとともに、食べ物への感謝の心や命を大切にす気持ちを育むことに努めた。</p> <p>[幼保・ク] 5領域の充実を意識してクラス活動で実践している割合</p> <table border="1" data-bbox="1288 1029 2116 1157"> <thead> <tr> <th>ク</th> <th>80%以上</th> <th>50%以上～80%未満</th> <th>50%未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>25 (80%)</td> <td>6 (20%)</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>23 (74%)</td> <td>8 (26%)</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	ク	80%以上	50%以上～80%未満	50%未満	R1	25 (80%)	6 (20%)	なし	H30	23 (74%)	8 (26%)	なし
ク	80%以上	50%以上～80%未満	50%未満											
R1	25 (80%)	6 (20%)	なし											
H30	23 (74%)	8 (26%)	なし											

施策(2) 特別な配慮が必要な子どもへの支援

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果																					
①三条市子ども・若者総合サポートシステムの充実(継続)	<p>【早期発見と支援の充実】 引き続き、発達障がいや虐待の早期発見に努め、幼児施設、保護者、関係機関等と連携し、個別の支援に当たった。</p> <p>●支援の概況 ○発達障がい等の把握数(就学前幼児) 210人(令和2年3月末現在) ○虐待管理児童数 102人(令和2年3月末現在)</p>	<p>【早期発見と保護者や関係機関との連携・支援】 市の子ども・若者総合サポートシステムの中で、発達に疑いのある子や虐待などに早期に気付くよう努め、保護者や関係機関と連携を図り支援した。また、虐待の疑いのある子どもについては、関係機関と連携し支援した。(子どもの状況を確認し、家庭児童相談員へ通報)</p> <p>【幼保・ケ】 次の取組についてどれだけ実施したか</p> <ul style="list-style-type: none"> 「発達障がいに早期に気付くための保育力向上に向けた取組を実施」 「全保育者が関係機関との連携の流れを分かっている」 「園内で保育者相互の情報共有やケース検討等を行っている」 <table border="1" data-bbox="1279 676 2119 796"> <thead> <tr> <th>ケ</th> <th>3つ</th> <th>1つ～2つ</th> <th>なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>13 (42%)</td> <td>18 (58%)</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>17 (55%)</td> <td>14 (45%)</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>【幼保・コ】 全保育者が虐待の疑いのある子に気付いた時の対応方法をわかっていたか。</p> <table border="1" data-bbox="1279 876 1955 999"> <thead> <tr> <th>コ</th> <th>わかっていた</th> <th>わかっていない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>28 (90%)</td> <td>3 (10%)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>29 (94%)</td> <td>2 (6%)</td> </tr> </tbody> </table>	ケ	3つ	1つ～2つ	なし	R1	13 (42%)	18 (58%)	なし	H30	17 (55%)	14 (45%)	なし	コ	わかっていた	わかっていない	R1	28 (90%)	3 (10%)	H30	29 (94%)	2 (6%)
ケ	3つ	1つ～2つ	なし																				
R1	13 (42%)	18 (58%)	なし																				
H30	17 (55%)	14 (45%)	なし																				
コ	わかっていた	わかっていない																					
R1	28 (90%)	3 (10%)																					
H30	29 (94%)	2 (6%)																					
②年中児発達参観の着実な実施(強化)	<p>【年中児発達参観の実施の支援】 支援が必要な子どもへの早期の気付き・支援のため、「年中児発達参観」を実施した。(未実施1施設については引き続き働き掛けていく。)</p> <p>●「年中児発達参観」実施の概要 実施幼稚園・保育所(園)等 30施設 実施回数全51回 (1施設未実施)</p> <p>参加児数 659人(対象児676人) 参加保護者数 651人</p>	<p>【年中児発達参観の実施】 年中児発達参観を着実に実施していく中で、子どもの育ちや個性等に早期に気づき、一人一人に合った適切な支援を行った。</p> <p>【幼保・サ】 年中児発達参観を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="1279 1238 1753 1361"> <thead> <tr> <th>サ</th> <th>実施した</th> <th>しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>30 (97%)</td> <td>1 (3%)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>30 (97%)</td> <td>1 (3%)</td> </tr> </tbody> </table>	サ	実施した	しなかった	R1	30 (97%)	1 (3%)	H30	30 (97%)	1 (3%)												
サ	実施した	しなかった																					
R1	30 (97%)	1 (3%)																					
H30	30 (97%)	1 (3%)																					

	<p>【「個別の発達支援計画」作成の支援】 (「個別の発達支援計画」の作成件数)</p> <p>未満児 26人 年少児 34人 年中児 79人 年長児 71人 合計 210人 (うち保護者共有185人 共有率88.1%)</p>	<p>【「個別の発達支援計画」に基づく支援】 「個別の発達支援計画」を活用し、一人一人の特性に応じた支援を継続的に行うとともに、支援計画を小学校等に確実に引き継いだ。 保護者理解も進みつつあり、参観前に個別の支援計画を作成できる子どもが多くいたが、保護者共有が難しい場合もあり、支援計画の作成に至ることができないケースもあった。</p> <p>[幼保・シ] 今年度年中児発達参観で要支援になった子どもに個別の発達支援計画を作成した。 ※1 サで実施した施設のみ回答</p> <table border="1" data-bbox="1279 584 1942 708"> <tr> <td>シ</td> <td>100%</td> <td>70～100%未満</td> <td>70未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>22 (86%)</td> <td>2 (7%)</td> <td>2 (7%)</td> <td>26園/30園中</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>26 (100%)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>26園/30園中</td> </tr> </table>	シ	100%	70～100%未満	70未満		R1	22 (86%)	2 (7%)	2 (7%)	26園/30園中	H30	26 (100%)	0	0	26園/30園中
シ	100%	70～100%未満	70未満														
R1	22 (86%)	2 (7%)	2 (7%)	26園/30園中													
H30	26 (100%)	0	0	26園/30園中													
<p>③発達障がい等に対する啓発活動の充実(継続)</p>	<p>【発達障がいに対する啓発活動、発達応援講演会の開催】 乳幼児健診における相談対応のほか、発達障がいに関する講演会を開催し、啓発を図った。</p> <p>●発達応援講演会の開催 期日等 11月(総合福祉センター多目的ホール) ・講師 牧野 仁 氏(県立吉田病院小児科医長) ・演題 「子どもが発達障がいかどうかよりももっと大切なこと～小児科医が考える愛着形成とは～」 ・対象者等 一般市民(230人参加)</p>	<p>【発達障がいに関する情報提供】 保護者の発達障がいに関する理解を深めるため、情報提供を実施した。</p> <p>●各施設における情報提供の実施状況 [幼保・ス] 次の項目のうち、どれだけ取り組んだか。 ・「全保護者に子どもの持つ困り感についての話をに行った。」 ・「必要な保護者に個別対応で情報提供を行った。」 ・「園内にポスター・パンフレット等を置いた。」 ・「市の相談窓口一覧を掲示した。」</p> <table border="1" data-bbox="1279 1144 1942 1268"> <tr> <td>ス</td> <td>3つ以上</td> <td>1つ～2つ</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>16 (52%)</td> <td>15 (48%)</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>16 (52%)</td> <td>15 (48%)</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> </table>	ス	3つ以上	1つ～2つ	なし		R1	16 (52%)	15 (48%)	なし		H30	16 (52%)	15 (48%)	なし	
ス	3つ以上	1つ～2つ	なし														
R1	16 (52%)	15 (48%)	なし														
H30	16 (52%)	15 (48%)	なし														

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果												
④発達支援コーディネーターを中心としたサポート体制の確立(強化)	<p>【発達支援コーディネーター研修の実施、活動への支援】 支援の必要に早期に気付き適切な支援につなげていく「発達支援コーディネーター」の養成と当該職の知見の向上を図るため研修を実施した。</p> <p>●「発達支援コーディネーター」研修 [基礎編] 時期等 5月・6月(全3回) 28人参加 講師 教育委員会職員 内容 発達支援コーディネーターの役割、小学校就学までの流れの理解、気になる子どもへの支援、年中児発達参観の流れ、発音の発達と吃音等</p> <p>[応用編] 時期等 2月(全2回) 33人参加 講師 渡邊 弥生氏(臨床心理士) 長澤 正樹氏(新潟大学教職大学院教授) 内容 保護者理解と特別な支援を要する幼児への関わり</p> <p>●保健師及び臨床心理士による保育所(園)の訪問指導 422件</p>	<p>【発達支援コーディネーターの活動の実践、及び発達支援コーディネーターを中心とした園内・関係機関との連携】 支援の必要な子どもの個性や特性を把握し、担任や保護者による適切な関わりをサポートと、関係機関等への連携に努めた。</p> <p>[幼保・セ] 発達支援コーディネーターとしての次の取組のうちどれだけ実施したか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「園内の連携を推進するための調整や研修の企画、運営を行った。」 ・「保護者の相談窓口になった。」 ・「教育委員会等関係機関との連携窓口になった。」 ・「担任保育者への支援を行った。」 <table border="1" data-bbox="1290 635 2123 759"> <thead> <tr> <th>セ</th> <th>3つ以上</th> <th>1つ～2つ</th> <th>なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>19 (61%)</td> <td>12 (39%)</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>22 (71%)</td> <td>9 (29%)</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	セ	3つ以上	1つ～2つ	なし	R1	19 (61%)	12 (39%)	なし	H30	22 (71%)	9 (29%)	なし
セ	3つ以上	1つ～2つ	なし											
R1	19 (61%)	12 (39%)	なし											
H30	22 (71%)	9 (29%)	なし											
⑤ユニバーサルデザインの視点に立った保育環境の構成(強化)	<p>【ユニバーサルデザインに関する研修の実施、並びに研修会等の情報提供】 ユニバーサルデザインに関し、幼稚園、保育所(園)への研修会、情報提供等を実施した。</p> <p>●研修会の実施(発達支援コーディネーター研修会[基礎編]においてユニバーサルデザインとインクルーシブ教育システムについての講話を実施)</p> <p>●教育委員会(小中一貫教育推進課)が実施する特別支援教育研修会への参加促進</p> <p>時期等 8月(リサーチコアホール) 対象 幼稚園・保育所(園)等の保育者・小学校等員 等 参加者 122人(うち保育者9人、課職員1人) 講師 大矢 薫氏(新潟リハビリテーション大学学習センター長) 演題 「特別な支援が必要な子のレジリエンスを育てるには」</p>	<p>【ユニバーサルデザインの視点に立った保育環境の形成】 支援が必要な子どもにとって過ごしやすい環境は、多くの子どもにとっても過ごしやすい環境であるという認識の下、保育環境の工夫を実践した。また、小中一貫教育推進課の行う特別支援教育研修会へ参加した。</p> <p>[幼保・ソ] 次の取組の中でどれだけ実施したか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「集中して話が聞けるよう、保育者の背後の壁面等に配慮した。」 ・「園内の生活習慣や一日の流れについて視覚的支援を行った。」 ・「大きな音(太鼓演奏や机をひきずる音など)に対し配慮した。」 ・「施設内でユニバーサルデザインの工夫(環境構成・話し方等)に係る話合いの場を持った。」 <table border="1" data-bbox="1290 1233 2123 1358"> <thead> <tr> <th>ソ</th> <th>3つ以上</th> <th>1つ～2つ</th> <th>なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>15 (48%)</td> <td>15 (48%)</td> <td>1 (4%)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>17 (55%)</td> <td>13 (42%)</td> <td>1 (3%)</td> </tr> </tbody> </table>	ソ	3つ以上	1つ～2つ	なし	R1	15 (48%)	15 (48%)	1 (4%)	H30	17 (55%)	13 (42%)	1 (3%)
ソ	3つ以上	1つ～2つ	なし											
R1	15 (48%)	15 (48%)	1 (4%)											
H30	17 (55%)	13 (42%)	1 (3%)											

施策(3) 教職員の資質や専門性の向上

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果												
①資質・専門性の向上のための研修の充実（継続）	<p>【資質向上のための研修会の開催】 職員の資質・専門性の向上を図るため、研修会等を実施した。</p> <p>●保育士の実践力向上研修会 時期等 7月（教育センターホール） 対象等 幼稚園・保育所（園）、認定こども園保育者（39人参加） 講師 名塚 裕子教諭、長谷川 宏之教諭（新大附属幼稚園） 演題 「これからの幼児教育と保育者の力量形成」</p> <p>●園内研修及び自主研修への支援 ○三条市保育研究会（5歳児部会）の実施支援 時期等 7月（三条市東会館会議室） 対象 公立保育所年長児担任（17人参加） 講師 幼保小連携推進員 演題 「幼保から小学校へ～経験的な学びから系統的な学びへ～」</p>	<p>【研修内容を活かした教育・保育活動の実施】 事例検討等の園内研修や自主研修を実施し一人一人の専門性を高めるとともに、園全体の課題を明確にし、活動内容や指導計画を見直した。</p> <p>●園内研修の工夫等 【幼保・タ】 次の取組の中でどれだけ実施したか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「園内で公開保育を実施した。」 ・「各種の園内研修を行った。」 ・「各種の園外研修に参加した。」 ・「園外研修で学んだことを園内で共有した。」 <table border="1" data-bbox="1290 676 2119 799"> <thead> <tr> <th>タ</th> <th>3つ以上</th> <th>1つ～2つ</th> <th>なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>24 (77%)</td> <td>7 (23%)</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>21 (68%)</td> <td>10 (32%)</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	タ	3つ以上	1つ～2つ	なし	R1	24 (77%)	7 (23%)	なし	H30	21 (68%)	10 (32%)	なし
タ	3つ以上	1つ～2つ	なし											
R1	24 (77%)	7 (23%)	なし											
H30	21 (68%)	10 (32%)	なし											
②一人一人の特性に応じた幼児教育の実施（継続）	<p>【教育・保育活動に関する研修会等の情報提供等】 教育・保育活動に関する情報提供、取りまとめ等を行った。</p>	<p>【研修内容を活かした教育・保育活動の実施】 一人一人の子どもを理解することで子どもの思いに共感しつつ、保育の経過記録に記し保育活動に活用した。</p> <p>●教育・保育活動の状況 【幼保・チ】 担任や加配保育士(80%以上)は日々の子どもの様子をメモしていたか。</p> <table border="1" data-bbox="1290 1150 1899 1273"> <thead> <tr> <th>チ</th> <th>取っていた</th> <th>取っていなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>28 (90%)</td> <td>3 (10%)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>29 (94%)</td> <td>2 (6%)</td> </tr> </tbody> </table>	チ	取っていた	取っていなかった	R1	28 (90%)	3 (10%)	H30	29 (94%)	2 (6%)			
チ	取っていた	取っていなかった												
R1	28 (90%)	3 (10%)												
H30	29 (94%)	2 (6%)												

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果									
③保護者との信頼関係の構築(継続)	<p>【研修会等に関する情報提供等】 保護者支援に係る研修会等の情報提供、取りまとめ等を行った。</p>	<p>【研修内容を活かした保護者支援の実施】 子どもの様子を的確に把握し保護者に伝えるとともに、悩んでいる保護者の話を聞き適切なアドバイスを行うよう努めた。</p> <p>●教育・保育活動の状況 [幼保・ツ] 保育者(80%以上)は、保護者に対して適切な対応を行っていたか。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ツ</th> <th>行っていた</th> <th>行っていなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>29 (94%)</td> <td>2 (6%)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>30 (97%)</td> <td>1 (3%)</td> </tr> </tbody> </table>	ツ	行っていた	行っていなかった	R1	29 (94%)	2 (6%)	H30	30 (97%)	1 (3%)
ツ	行っていた	行っていなかった									
R1	29 (94%)	2 (6%)									
H30	30 (97%)	1 (3%)									

施策(4) 信頼される幼稚園・保育所(園)づくり

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果									
①評価サイクルによる保育所評価の実施(強化)	<p>【保育所評価の着実な実施に対する支援】 評価、公表を行っていくことが保護者との信頼関係やより良い保育所運営へと結び付くため、引き続き、着実に評価、改善を行うよう働きかけを行った。</p> <p>●保育所評価の実施支援(2月) ●評価結果についてホームページにおいて公表</p>	<p>【保育所評価の着実な実施と公表】 評価結果を基に、職員自身や幼稚園・保育所(園)等の教育、保育活動を振り返り評価し、その結果と改善策を公表するとともに、日頃の保育活動に活かした。</p> <p>●保育所評価の活用 [幼保・テ] PDCAサイクルを確立し、保育所評価を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>テ</th> <th>実施した</th> <th>実施しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>25 (81%)</td> <td>6 (19%)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>26 (84%)</td> <td>5 (16%)</td> </tr> </tbody> </table>	テ	実施した	実施しなかった	R1	25 (81%)	6 (19%)	H30	26 (84%)	5 (16%)
テ	実施した	実施しなかった									
R1	25 (81%)	6 (19%)									
H30	26 (84%)	5 (16%)									

		<p>[幼保・ト] 評価結果を第三者委員や保護者に公表し、日頃の教育・保育活動に活かした。※ 上記で「実施した」を選んだ施設のみ回答</p> <table border="1" data-bbox="1290 240 1995 403"> <thead> <tr> <th>ト</th> <th>結果及び対応策を公表</th> <th>結果のみ公表</th> <th>公表なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>23 (92%)</td> <td>2 (8%)</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>24 (92%)</td> <td>1 (4%)</td> <td>1 (4%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>25園中 26園中</p>	ト	結果及び対応策を公表	結果のみ公表	公表なし	R1	23 (92%)	2 (8%)	なし	H30	24 (92%)	1 (4%)	1 (4%)
ト	結果及び対応策を公表	結果のみ公表	公表なし											
R1	23 (92%)	2 (8%)	なし											
H30	24 (92%)	1 (4%)	1 (4%)											
<p>②「保護者先生体験」の実施（継続）</p>	<p>【「保護者先生体験」の実施への支援】 保育所（園）等における「保護者先生体験」の実施について、アドバイス等の支援を行った。 ※ 保護者先生体験：保護者の希望を募り、保育者（先生）を体験していただくもの</p>	<p>【「保護者先生体験」の実施】 「保護者先生体験」により、保護者に保育所（園）での日頃の活動や保育者の関わりを体験していただき、保護者との信頼関係の深化につなげた。 [幼保・ナ] 「保護者先生体験」に参加した保護者の延べ人数 R1：472人、H30：470人</p>												
<p>③学校評議員制度や苦情処理制度の活用（継続）</p>	<p>【苦情処理体制整備への支援】 苦情処理体制整備について、アドバイス等の支援を行った。</p>	<p>【苦情処理体制の整備】 保護者からの意見、要望及び苦情に対し適切な対応ができるよう受付窓口を設け、相談責任者、担当者等の体制を保護者に周知した。 [幼保・ニ] 学校評議員制度や苦情処理制度を活用し保護者等の意見を聞いたか。</p> <table border="1" data-bbox="1290 879 1899 1002"> <thead> <tr> <th>二</th> <th>聞いている</th> <th>聞いていない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>24 (77%)</td> <td>7 (23%)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>24 (77%)</td> <td>7 (23%)</td> </tr> </tbody> </table>	二	聞いている	聞いていない	R1	24 (77%)	7 (23%)	H30	24 (77%)	7 (23%)			
二	聞いている	聞いていない												
R1	24 (77%)	7 (23%)												
H30	24 (77%)	7 (23%)												

《重点項目2》 幼稚園・保育所（園）等と小学校の連携の推進

(1) 確実な引継ぎ・継続的な支援

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果																																	
<p>①個別の発達支援計画等の活用(強化)</p>	<p>【小学校等訪問及び「個別の発達支援計画」に係るアンケートによる引継ぎ・活用状況の把握】</p> <p>小学校や保育所(園)に対し、訪問やアンケートにより状況把握を実施する中で、「個別の発達支援計画」やその活用に係る幼小・保小の接続期のスムーズな引継ぎが図られるよう促した。</p> <p>また、新保育要録の作成支援及び研修会を開催した。</p> <p>(2)－① 第1回合同実務者会議)</p> <p>●小学校等訪問及びアンケートによる「個別の発達支援計画」の引継ぎ・活用状況把握</p> <p>○接続期における小学校等訪問と情報交換</p> <p>対象児 1年生 実施時期 5月～7月 対象校 市内全小学校、義務教育学校、県立特別支援学校 訪問者 指導主事、幼保小連携推進員、地区担当保健師、発達ルーム専任指導員、児童クラブ推進員等</p> <p>○接続期における幼稚園・保育所(園)等訪問と情報交換</p> <p>対象児 年長児 実施時期 10月～2月 訪問施設 全幼児施設 32 施設 訪問者 指導主事、幼保小連携推進員、地区担当保健師、児童クラブ推進員 等</p> <p>○「個別の発達支援計画」の引継ぎ・活用状況の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートにより年度末に実施 ・保育所(園)等から小学校への「個別の発達支援計画」引継ぎ報告書の提出による引継ぎ状況の確認 	<p>【「個別の発達支援計画」の引継ぎ、活用】</p> <p>支援が必要な子どもについて、「個別の発達支援計画」を引き継ぐことで、幼児期において受けた支援をスムーズに小学校等に引き継ぎ、継続的な支援に繋げることに努めた。</p> <p>●「個別の支援計画」の引継ぎ</p> <p>[幼保・又] 「個別の支援計画」を小学校に送付するとともに、情報交換会等で子どもの引継ぎを確実にを行った。</p> <table border="1" data-bbox="1301 635 2085 756"> <thead> <tr> <th>又</th> <th>行った</th> <th>行わなかった</th> <th>(要支援児の在籍施設)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>28 (100%)</td> <td>なし</td> <td>28 園中</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>29 (100%)</td> <td>なし</td> <td>29 園中</td> </tr> </tbody> </table> <p>[小学・ア] 今年度の1年生に「個別の支援計画」作成児がいたか。</p> <p>※ 特別支援学級も含む。</p> <table border="1" data-bbox="1301 836 1892 957"> <thead> <tr> <th>ア</th> <th>作成児がいた</th> <th>いなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>16 (80%)</td> <td>4 (20%)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>16 (80%)</td> <td>4 (20%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>●「個別の発達支援計画」の活用</p> <p>[小学・イ] どの子が支援児であるか知っている。</p> <p>※ 作成児在籍小学校のみ回答</p> <p>A：担任のほか、1学年に携わる職員、管理職、コーディネーターなど複数の職員が知っている。</p> <p>B：担任のほか、1学年に携わる職員が知っている。</p> <p>C：担任のみが知っている。</p> <table border="1" data-bbox="1301 1235 2009 1356"> <thead> <tr> <th>イ</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>16 (100%)</td> <td>なし</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>15 (94%)</td> <td>1 (6%)</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	又	行った	行わなかった	(要支援児の在籍施設)	R1	28 (100%)	なし	28 園中	H30	29 (100%)	なし	29 園中	ア	作成児がいた	いなかった	R1	16 (80%)	4 (20%)	H30	16 (80%)	4 (20%)	イ	A	B	C	R1	16 (100%)	なし	なし	H30	15 (94%)	1 (6%)	なし
又	行った	行わなかった	(要支援児の在籍施設)																																
R1	28 (100%)	なし	28 園中																																
H30	29 (100%)	なし	29 園中																																
ア	作成児がいた	いなかった																																	
R1	16 (80%)	4 (20%)																																	
H30	16 (80%)	4 (20%)																																	
イ	A	B	C																																
R1	16 (100%)	なし	なし																																
H30	15 (94%)	1 (6%)	なし																																

[小学・ウ] 次の取組の中でどれだけ実施したか。

- ※ 特別支援学級での活用含める
- ・学級編制の参考資料にした。
 - ・担任等が作成児に関わる際の参考にした。
 - ・担任が学級経営等の参考にした。
 - ・保護者との面談で使用了。
 - ・小学校等での個別の教育支援計画・個別の指導計画作成時に参考にした。

ウ	3つ以上	1～2つ	なし
R1	13 (81%)	3 (19%)	なし
H30	15 (94%)	1 (6%)	なし

子ども一人一人の成長を振り返り、「幼児期に育てほしい姿(10の姿)」の中で最終学年の1年間で成長した点や小学校で更に伸ばしてほしい部分を記載し、小学校に送付した。

●新様式による要録作成

[幼保・ネ] 新様式、新作成方法に基づいて要録を作成し、小学校等に確実に送付したか。

ネ	行った	行わなかった
R1	31 (100%)	なし
H30	30 (97%)	1 (3%)

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果																		
②三條市子ども・若者サポートシステムの啓発(継続)	<p>【三條市子ども・若者総合サポートシステムの普及・啓発】</p> <p>●三條市子ども・若者総合サポート会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表者会議 1回 ・実務者会議 5回(虐待防止部会、障がい支援部会、若者支援部会：各1回、問題行動対応部会：2回) ・個別のケース検討会議 ・就学時健診での説明 ・校長会での説明 	<p>【三條市子ども・若者総合サポートシステムにおける情報提供等】</p> <p>保護者に三條市子ども・若者総合サポートシステムの情報提供を実施した。また、保護者が集まる機会に、同システムについて説明を行い利用方法等の周知を行った。</p> <p>●三條市子ども・若者総合サポートシステムの情報提供</p> <p>[幼保・ノ] 幼稚園・保育所(園)で情報提供を行った。</p> <table border="1" data-bbox="1308 480 1928 603"> <thead> <tr> <th>ノ</th> <th>行った</th> <th>行わなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>21 (68%)</td> <td>10 (32%)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>22 (71%)</td> <td>9 (29%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>[小学・エ] 小学校で情報提供を行った。</p> <table border="1" data-bbox="1308 643 1928 766"> <thead> <tr> <th>エ</th> <th>行った</th> <th>行わなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>11 (55%)</td> <td>9 (45%)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>10 (50%)</td> <td>10 (50%)</td> </tr> </tbody> </table>	ノ	行った	行わなかった	R1	21 (68%)	10 (32%)	H30	22 (71%)	9 (29%)	エ	行った	行わなかった	R1	11 (55%)	9 (45%)	H30	10 (50%)	10 (50%)
ノ	行った	行わなかった																		
R1	21 (68%)	10 (32%)																		
H30	22 (71%)	9 (29%)																		
エ	行った	行わなかった																		
R1	11 (55%)	9 (45%)																		
H30	10 (50%)	10 (50%)																		

(2) 交流活動の推進

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果																														
<p>① 幼保小連携活動の支援（継続）</p>	<p>【幼保小・職員交流活動の支援】 幼保小の職員交流活動の実施について支援するとともに、連携合同実務者会議を開催した。</p> <p>●幼保小・職員交流活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度交流活動報告書作成・配布 令和2年度交流活動計画書取りまとめ 交流活動のためのバス運行支援（バス運行回数 55 回） <p>●連携合同実務者会議の開催</p> <p>○第1回合同実務者会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期等 5月（栄庁舎3階大会議室） ・参加者 幼稚園・保育所(園)及び小学校等連携実務者 ・内容 今年度の交流活動の計画立案 研修会（新保育要録等について） <p>○第2回合同実務者会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期等 2月（栄庁舎3階大会議室） ・参加者 幼稚園・保育所(園)及び小学校等連携実務者 ・内容 今年度の交流活動の反省及び次年度の計画立案 研修会（小学校学習指導要領改訂について） 	<p>【幼保小・幼保・保保・職員交流活動の充実】 子ども達が意欲や期待を持って、小学校に入学できるよう、幼保小連携会議の中で、幼保小交流活動、幼保、保保交流の取組について話し合いを行い活動の充実を図ることに努めた。</p> <p>●幼保小・幼保・職員交流活動の充実</p> <p>【幼保・ハ】 前年度の交流活動の課題に対する改善を行ったか。</p> <table border="1" data-bbox="1274 557 1975 679"> <thead> <tr> <th>ハ</th> <th>改善した</th> <th>改善しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>30 (97%)</td> <td>1 (3%)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>29 (94%)</td> <td>2 (6%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【小学・オ】 前年度の交流活動の課題に対する改善を行ったか。</p> <table border="1" data-bbox="1274 759 1975 882"> <thead> <tr> <th>オ</th> <th>改善した</th> <th>改善しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>18 (90%)</td> <td>2 (10%)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>19 (95%)</td> <td>1 (5%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>●幼保小、幼保、保保交流活動の実施</p> <p>【幼保・ヒ】 交流活動によって見られるようになった子どもの姿（次の項目のうちどれだけ該当するか。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもが小学校等入学を楽しみにするようになった。」 ・「顔見知りが増え、友達との関係づくりに積極性が出てきた。」 ・「自分のことは自分でしようという自発性が出てきた。」 ・「知的好奇心が育ってきた。」 <table border="1" data-bbox="1274 1198 1975 1321"> <thead> <tr> <th>ヒ</th> <th>3つ以上</th> <th>1～2つ</th> <th>なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>29 (94%)</td> <td>2 (6%)</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>28 (90%)</td> <td>3 (10%)</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	ハ	改善した	改善しなかった	R1	30 (97%)	1 (3%)	H30	29 (94%)	2 (6%)	オ	改善した	改善しなかった	R1	18 (90%)	2 (10%)	H30	19 (95%)	1 (5%)	ヒ	3つ以上	1～2つ	なし	R1	29 (94%)	2 (6%)	なし	H30	28 (90%)	3 (10%)	なし
ハ	改善した	改善しなかった																														
R1	30 (97%)	1 (3%)																														
H30	29 (94%)	2 (6%)																														
オ	改善した	改善しなかった																														
R1	18 (90%)	2 (10%)																														
H30	19 (95%)	1 (5%)																														
ヒ	3つ以上	1～2つ	なし																													
R1	29 (94%)	2 (6%)	なし																													
H30	28 (90%)	3 (10%)	なし																													

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果																																				
		<p data-bbox="1272 204 2123 276">【小学・カ】 交流活動によって見られるようになった子どもの姿（次の項目のうちどれだけ該当するか。）</p> <ul data-bbox="1308 284 2123 475" style="list-style-type: none"> ・「園児と触れ合い、児童の思いやりの心が育った。」 ・「顔見知りが増え、友だちとの関係づくりに積極性が出てきた。」 ・「小学生としての自覚が育ってきた。」 ・「自信を持ち、積極的な行動が見られるようになった。」 ・「普段と違う児童の姿が見られた。」 <table border="1" data-bbox="1279 480 1975 600"> <tr> <td>カ</td> <td>3つ以上</td> <td>1～2つ</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>20 (100%)</td> <td>なし</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>18 (90%)</td> <td>2 (10%)</td> <td>なし</td> </tr> </table> <p data-bbox="1249 647 1518 675">●職員交流活動の充実</p> <p data-bbox="1272 687 2123 715">【幼保・フ】 交流活動の成果（次の項目のうちどれだけ該当するか。）</p> <ul data-bbox="1308 722 2040 874" style="list-style-type: none"> ・「幼児教育や学校教育の違いや内容を知ることができた。」 ・「他施設や小学校等の行事等について知ることができた。」 ・「小学校等への子どもの情報の引継ぎがしやすくなった。」 ・「接続期の教育を意識し、実践した。」 <table border="1" data-bbox="1279 879 1975 999"> <tr> <td>フ</td> <td>3つ以上</td> <td>1～2つ</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>27 (87%)</td> <td>4 (13%)</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>28 (90%)</td> <td>3 (10%)</td> <td>なし</td> </tr> </table> <p data-bbox="1272 1007 2123 1034">【小学・キ】 交流活動の成果（次の項目のうちどれだけ該当するか。）</p> <ul data-bbox="1308 1042 2040 1273" style="list-style-type: none"> ・「幼児教育と学校教育の違いや内容を知ることができた。」 ・「他園や他校の行事等について知ることができた。」 ・「他園や他校の教職員と親しくなれた。」 ・「保護者の家庭環境等の情報を知ることができた。」 ・「気になる子の対応の仕方を知ることができた。」 ・「接続期の教育を意識し、実践した。」 <table border="1" data-bbox="1279 1278 1975 1398"> <tr> <td>キ</td> <td>3つ以上</td> <td>1～2つ</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>20 (100%)</td> <td>なし</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>20 (100%)</td> <td>なし</td> <td>なし</td> </tr> </table>	カ	3つ以上	1～2つ	なし	R1	20 (100%)	なし	なし	H30	18 (90%)	2 (10%)	なし	フ	3つ以上	1～2つ	なし	R1	27 (87%)	4 (13%)	なし	H30	28 (90%)	3 (10%)	なし	キ	3つ以上	1～2つ	なし	R1	20 (100%)	なし	なし	H30	20 (100%)	なし	なし
カ	3つ以上	1～2つ	なし																																			
R1	20 (100%)	なし	なし																																			
H30	18 (90%)	2 (10%)	なし																																			
フ	3つ以上	1～2つ	なし																																			
R1	27 (87%)	4 (13%)	なし																																			
H30	28 (90%)	3 (10%)	なし																																			
キ	3つ以上	1～2つ	なし																																			
R1	20 (100%)	なし	なし																																			
H30	20 (100%)	なし	なし																																			

(3) 育ちのつながりを意識した指導

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果																																				
①保育参観・授業参観の充実(強化)	<p>【保育参観・授業参観の実施促進】 保育参観、授業参観、保育士体験、小学校教諭体験等による啓発を図った。</p> <p>●連携合同実務者会議における保育参観・授業参観の実施呼びかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校等の学習参観等の案内を幼児施設に送付し、自由に参観できるようにした。 ・幼児施設の保育参観等の案内を小学校等に送付し、自由に参観できるようにした。 ・小学校等教員の「保育者体験」の促進 ・保育者の「小学校教諭体験」の促進 ・アンケートにより実施状況の把握 	<p>【保育参観・授業参観の実施】 保育参観・授業参観や保育士体験・小学校教諭体験を通してそれぞれの特質(生活リズム、学び方等)を理解し、日々の活動に活かすよう努めた。</p> <p>●保育参観・授業参観の実施</p> <p>[幼保・へ] 職員が小学校の授業参観をした。 ※ 引継ぎのための1年生の授業参観を含む</p> <table border="1" data-bbox="1274 557 1991 679"> <thead> <tr> <th>へ</th> <th>参観した</th> <th>しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>31 (100%)</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>31 (100%)</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>[小学・ク] 幼稚園・保育所(園)等の教育、保育を参観したか。 ※ 引継ぎのための保育参観含む。</p> <table border="1" data-bbox="1274 799 1991 922"> <thead> <tr> <th>ク</th> <th>行った</th> <th>行わなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>19 (95%)</td> <td>1 (5%)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>20 (100%)</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>[幼保・ホ] 職員が小学校の授業に参画したか。 ※ 小学校との合同授業含む。</p> <table border="1" data-bbox="1274 1042 1991 1165"> <thead> <tr> <th>ホ</th> <th>参画した</th> <th>参画しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>9 (29%)</td> <td>22 (71%)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>7 (23%)</td> <td>24 (77%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>[小学・ケ] 小学校等職員が、保育者体験を行った。</p> <table border="1" data-bbox="1274 1243 1991 1366"> <thead> <tr> <th>ケ</th> <th>行った</th> <th>行わなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>12 (60%)</td> <td>8 (40%)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>9 (45%)</td> <td>11 (55%)</td> </tr> </tbody> </table>	へ	参観した	しなかった	R1	31 (100%)	なし	H30	31 (100%)	なし	ク	行った	行わなかった	R1	19 (95%)	1 (5%)	H30	20 (100%)	なし	ホ	参画した	参画しなかった	R1	9 (29%)	22 (71%)	H30	7 (23%)	24 (77%)	ケ	行った	行わなかった	R1	12 (60%)	8 (40%)	H30	9 (45%)	11 (55%)
へ	参観した	しなかった																																				
R1	31 (100%)	なし																																				
H30	31 (100%)	なし																																				
ク	行った	行わなかった																																				
R1	19 (95%)	1 (5%)																																				
H30	20 (100%)	なし																																				
ホ	参画した	参画しなかった																																				
R1	9 (29%)	22 (71%)																																				
H30	7 (23%)	24 (77%)																																				
ケ	行った	行わなかった																																				
R1	12 (60%)	8 (40%)																																				
H30	9 (45%)	11 (55%)																																				

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果																								
		<p>[幼保・マ] 保育参観の案内をした。</p> <table border="1" data-bbox="1274 240 1991 363"> <thead> <tr> <th>マ</th> <th>案内した</th> <th>案内しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>26 (84%)</td> <td>5 (16%)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>20 (65%)</td> <td>11 (35%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>[小学・コ] 保育者が1年間継続して授業参観を行える体制がとれたか。 ※ 授業参観の案内を出す、園からの要望に応じて授業参観を行う等</p> <table border="1" data-bbox="1274 483 1991 606"> <thead> <tr> <th>コ</th> <th>行った</th> <th>行わなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>12 (60%)</td> <td>8 (40%)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>9 (45%)</td> <td>11 (55%)</td> </tr> </tbody> </table>	マ	案内した	案内しなかった	R1	26 (84%)	5 (16%)	H30	20 (65%)	11 (35%)	コ	行った	行わなかった	R1	12 (60%)	8 (40%)	H30	9 (45%)	11 (55%)						
マ	案内した	案内しなかった																								
R1	26 (84%)	5 (16%)																								
H30	20 (65%)	11 (35%)																								
コ	行った	行わなかった																								
R1	12 (60%)	8 (40%)																								
H30	9 (45%)	11 (55%)																								
<p>②「安心わくわくプログラム」「スタートカリキュラム」の活用(強化)</p>	<p>【「安心わくわくプログラム」及び「スタートモデルカリキュラム」の活用の促進、活用状況の把握】</p> <p>「安心わくわくプログラム」及び「スタートモデルカリキュラム」の活用を推進し、併せて活用状況を把握した。</p> <p>1年生の担任が接続期のつながりを意識して指導計画を作成する参考となっている。また、スタートカリキュラムの見直しの効果については、次年度以降のアンケート結果を注視していく。</p> <p>※ 「安心わくわくプログラム」：年長児1月～3月、1年生4月～6月の活動プログラム</p> <p>※ 「スタートモデルカリキュラム」：主に1年生入学期2週間の授業のカリキュラム</p> <p>●令和2年度学習指導要領改訂に合わせて「スタートモデルカリキュラム」の内容を見直した。</p> <p>●アンケートにより活用状況を把握した。</p>	<p>【「安心わくわくプログラム」及び「スタートモデルカリキュラム」の活用】</p> <p>年長児担任及び1年生担任は、「安心わくわくプログラム」及び「スタートモデルカリキュラム」を活用し、幼保小の接続期の活動の充実に努めた。</p> <p>※ 「接続期」：年長児の1月から3月まで、及び小学校の入学後の4月から6月まで。つながりを意識して丁寧な指導を実施する時期</p> <p>●「安心わくわくプログラム」「スタートモデルカリキュラム」の活用状況</p> <p>[幼保・ミ] 職員への周知・研修を行ったか。</p> <table border="1" data-bbox="1274 1042 2110 1203"> <thead> <tr> <th>ミ</th> <th>全職員で行った</th> <th>年長児関係職員で行った</th> <th>行っていない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>6 (20%)</td> <td>19 (60%)</td> <td>6 (20%)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>2 (7%)</td> <td>23 (74%)</td> <td>6 (19%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>[小学・サ] 職員への周知・研修を行ったか。</p> <table border="1" data-bbox="1274 1243 2110 1404"> <thead> <tr> <th>サ</th> <th>全職員で行った</th> <th>1年生担任、関係職員で行った</th> <th>行っていない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>2 (10%)</td> <td>15 (75%)</td> <td>3 (15%)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1 (5%)</td> <td>17 (85%)</td> <td>2 (10%)</td> </tr> </tbody> </table>	ミ	全職員で行った	年長児関係職員で行った	行っていない	R1	6 (20%)	19 (60%)	6 (20%)	H30	2 (7%)	23 (74%)	6 (19%)	サ	全職員で行った	1年生担任、関係職員で行った	行っていない	R1	2 (10%)	15 (75%)	3 (15%)	H30	1 (5%)	17 (85%)	2 (10%)
ミ	全職員で行った	年長児関係職員で行った	行っていない																							
R1	6 (20%)	19 (60%)	6 (20%)																							
H30	2 (7%)	23 (74%)	6 (19%)																							
サ	全職員で行った	1年生担任、関係職員で行った	行っていない																							
R1	2 (10%)	15 (75%)	3 (15%)																							
H30	1 (5%)	17 (85%)	2 (10%)																							

		[幼保・ム] 年長児担任が接続期の取組において活用したか。			
		ム	両方取り入れた	安心わくわくプログラムを取り入れた	取り入れなかった
		R1	7 (23%)	20 (64%)	4 (13%)
		H30	8 (26%)	20 (64%)	3 (10%)
		[小学・シ] 1年生担任が接続期の取組において活用したか。			
		シ	両方取り入れた	どちらか一方を取り入れた	取り入れなかった
		R1	10 (50%)	8 (40%)	2 (10%)
		H30	8 (40%)	11 (55%)	1 (5%)

《重点項目3》 家庭への支援の充実

施策(1) 家庭の教育力の向上支援

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果																		
①家庭教育講座の充実(強化)	<p>【保護者を対象とした講座実施への支援】</p> <p>「家庭教育講座」等の保護者を対象とした講座の実施を支援したほか、「眠育」の浸透、啓発を図った。</p> <p>●家庭教育講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所(園)等の3歳児保護者を対象に実施 20園 ・小学校等就学時健診を活用し実施 20校 ・中学校等入学・進級説明会を活用し実施 8校 <p>●小学校等入学予定児童の保護者に「わくわくチャレンジ」配布</p> <p>●ノーバディズ・パーフェクト(NP)講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施概要 1講座12人、6回×5クール(参加者数61人) ・内 容 乳幼児を持つ保護者の育児不安を軽減、児童虐待防止を図り、保護者同士の情報交換や仲間作りの支援 <p>●初めてのママ講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施概要 1講座20人、4回×4クール(参加者数67人) ・内 容 初めての乳児を育てる保護者の育児不安を軽減、保護者同士の情報交換や仲間作りを支援 <p>【眠育推進事業の推進】</p> <p>●第1回眠育研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期等 8月(栄庁舎3階ホール) ・対象等 保育所等及び小・中・義務教育学校教職員等83人参加 ・講師 三池 輝久氏(熊本大学名誉教授) ・内 容 眠育の必要性、基本的な睡眠調査票の読取について <p>●保健師等研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期等 8月(栄庁舎201会議室)、9人参加 ・助言者 三池 輝久氏(熊本大学名誉教授) ・内 容 事例共有、座談会等 	<p>【子どもの状況に合わせた講座の開催】</p> <p>園行事など保護者が集まる機会を活用し、子どもの成長に合わせた内容の講座を開催した。</p> <p>また、眠育の推進については、リーフレット配布による眠育啓発やモデル地区における睡眠調査の実施及び状況に応じた個別指導を行った。</p> <p>[幼保・メ] 園独自の家庭教育講座(外部講師、園長、市職員等)を開催したか。</p> <table border="1" data-bbox="1283 675 1861 799"> <thead> <tr> <th>メ</th> <th>開催した</th> <th>しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>19 (61%)</td> <td>12 (39%)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>19 (61%)</td> <td>12 (39%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 市主催の家庭教育講座開催)</p> <table border="1" data-bbox="1283 837 1861 962"> <thead> <tr> <th>メ</th> <th>開催した</th> <th>しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>16 (52%)</td> <td>15 (48%)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>18 (58%)</td> <td>13 (42%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【眠育推進事業の実施】</p> <p>リーフレット配布による眠育啓発やモデル地区における睡眠調査の実施及び状況に応じた個別指導を行った。</p> <p>眠育研修会の継続的な実施により、多くの保育者に眠育の理解や知識の普及は図られている。子どもの年齢がより小さいうちから保護者へ啓発することをねらいとし、次年度は年少児の家庭教育講座に眠育講話を新たに加え、より啓発を強化していく。</p>	メ	開催した	しなかった	R1	19 (61%)	12 (39%)	H30	19 (61%)	12 (39%)	メ	開催した	しなかった	R1	16 (52%)	15 (48%)	H30	18 (58%)	13 (42%)
メ	開催した	しなかった																		
R1	19 (61%)	12 (39%)																		
H30	19 (61%)	12 (39%)																		
メ	開催した	しなかった																		
R1	16 (52%)	15 (48%)																		
H30	18 (58%)	13 (42%)																		

	<p>●第2回眠育研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期等 11月(栄庁舎3階ホール) ・対象等 モデル地区の保育所及び小・中学校教職員等41人参加 ・講師 三池 輝久氏(熊本大学名誉教授) ・内容 睡眠調査票の読取について(実習を中心に) <p>●眠育に関する意見交換会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期等 11月(栄庁舎研修室2)、養護教諭、保健師等19人参加 ・助言者 三池 輝久氏(熊本大学名誉教授) ・内容 事例共有、意見交換等 										
<p>②すまいるファイルの活用(継続)</p>	<p>【「すまいるファイル」の活用方法の周知】</p> <p>「すまいるファイル」について、保護者が記載する負担を軽減するため支援機関から配布されるシート等を挟み込む方式に変更するなど、より活用しやすい形式に見直すとともに、引き続き、出生時に保護者に配布した。</p> <p>●「すまいるファイル」の配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出生時保護者等に配布、活用方法周知 ・配布数 出生児の保護者等 708人 出生児以外の保護者 42人 	<p>【「すまいるファイル」の活用紹介、保護者との情報共有での活用】</p> <p>子どもに関わる必要な情報を記録し、何らかのサポートが必要になった時に、適切な支援につなげられるよう、このファイルを行政や相談機関に持参し活用できることを周知した。また、子どもの様子をわかり合い、成長に向けての関りを考えるツールとして、「個別の発達支援計画」の共有や個人面談など、保護者との情報共有で活用した。</p> <p>●すまいるファイルの活用紹介</p> <p>【幼保・モ】 保護者に周知したり、情報共有に使ったりしたか。</p> <table border="1" data-bbox="1283 831 1928 956"> <thead> <tr> <th>モ</th> <th>紹介した</th> <th>紹介しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>16 (52%)</td> <td>15 (48%)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>13 (42%)</td> <td>18 (58%)</td> </tr> </tbody> </table>	モ	紹介した	紹介しなかった	R1	16 (52%)	15 (48%)	H30	13 (42%)	18 (58%)
モ	紹介した	紹介しなかった									
R1	16 (52%)	15 (48%)									
H30	13 (42%)	18 (58%)									
<p>②家庭への情報発信(継続)</p>	<p>【家庭教育や子育て支援に関する情報提供】</p> <p>妊娠届けを出された方に対し、「平成31年度三条市子育てガイドブック」を配布した。</p>	<p>【家庭教育や子育て支援に関する情報提供】</p> <p>園内の保護者に子どもの成長に合わせた内容の講座の情報提供を行ったり、家庭教育の重要性や子育てに関するアドバイスを行ったりした。</p> <p>● 家庭教育や家庭教育支援事業について情報発信</p> <p>【幼保・ヤ】 園内の保護者にアドバイスを行ったり、家庭教育支援事業への参加を促したか。</p> <table border="1" data-bbox="1283 1233 1928 1358"> <thead> <tr> <th>ヤ</th> <th>発信した</th> <th>しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>30 (97%)</td> <td>1 (3%)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>28 (90%)</td> <td>3 (10%)</td> </tr> </tbody> </table>	ヤ	発信した	しなかった	R1	30 (97%)	1 (3%)	H30	28 (90%)	3 (10%)
ヤ	発信した	しなかった									
R1	30 (97%)	1 (3%)									
H30	28 (90%)	3 (10%)									

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果									
④家庭教育や子育てに関する相談の実施 (継続)	<p>【相談会の充実】 家庭教育や子育てに関する悩みや不安を解消するため、相談会等を実施した。</p> <p>●相談会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○電話相談 (随時) <ul style="list-style-type: none"> ・育児相談 111 件 ・家庭児童相談 (延べ) 総件数 955 件 (うち児童虐待に関する相談 855 件) ○来庁相談 (事前予約) <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発育・子育て相談 (臨床心理士と言語聴覚士) 月 4～5 回 (内 1 回は土曜) ・臨床心理士相談 132 件 ・言語聴覚士相談 49 件その他、保健師による随時相談を実施 	<p>【相談会の紹介】 悩み事や不安なことを相談できる機関を紹介した。</p> <p>●相談会の紹介</p> <p>【幼保・ユ】 園内の保護者に相談機関を紹介したか。</p> <table border="1" data-bbox="1283 400 1928 523"> <thead> <tr> <th>ユ</th> <th>紹介した</th> <th>しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 1</td> <td>31 (100%)</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>30 (97%)</td> <td>1 (3%)</td> </tr> </tbody> </table>	ユ	紹介した	しなかった	R 1	31 (100%)	なし	H30	30 (97%)	1 (3%)
ユ	紹介した	しなかった									
R 1	31 (100%)	なし									
H30	30 (97%)	1 (3%)									

(2) 地域の子育て支援の拠点化

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果									
①親子が気軽に交流できる拠点づくり (継続)	<p>【子育て支援センターにおける親同士の交流や相談事業の充実】 子育て拠点施設及び子育て支援センターにおいて、親同士の交流や相談事業を実施した。</p> <p>●施設における事業実施状況</p> <p>○子育て拠点施設すまいるランド</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例講座 220 回実施 (延べ4,493 人参加) 内容：歌、絵本、折り紙、助産師相談、栄養士相談等 ・恒例、特別イベント 74 回実施 (延べ5,843 人参加) 内容：フリーマーケット、夏祭り、クリスマス会等 <p>○子育て拠点施設あそぼって</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例講座 221 回実施 (延べ5,679 人参加) 内容：歌、ダンス、ヨガ、助産師相談、栄養士相談等 ・恒例、特別イベント 6 回実施 (延べ1,073 人参加) 内容：フリーマーケット、クリスマスコンサート等 <p>○子育て支援センター[7施設]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事内容 歌、リズム体操、絵本、季節行事等 (各月4回程度) ・育児講座 延べ295 回実施 ・子育て広場の利用 平均12 人/1 日 	<p>【園庭開放や地域との交流活動の実施】 子育て中の親子が気軽に集え、交流できるよう園開放日を設けた。交流活動では、高齢者をはじめ地域の人々と交流する中で、人と関わることの楽しさや人の役に立つ喜びを味わえるよう努めた。</p> <p>●園庭開放や地域との交流活動の実施</p> <p>【幼保・ヨ】 園庭開放や地域との交流活動を積極的に実施したか。</p> <table border="1" data-bbox="1283 555 1928 679"> <thead> <tr> <th>ヨ</th> <th>実施した</th> <th>実施しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>30 (97%)</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>28 (90%)</td> <td>3 (10%)</td> </tr> </tbody> </table>	ヨ	実施した	実施しなかった	R1	30 (97%)	なし	H30	28 (90%)	3 (10%)
ヨ	実施した	実施しなかった									
R1	30 (97%)	なし									
H30	28 (90%)	3 (10%)									
②子育て支援情報の発信 (継続)	<p>【子育てに関する情報提供】 子育てに関する情報を提供した。</p> <p>●子育て情報メール配信 (月3回+不定期)</p> <p>配信件数 56 件</p> <p>主な内容 子育て拠点施設、子育て支援センターイベント情報、子どもの健康注意、手当等に関するお知らせ等</p>	<p>【子育てに関する情報提供】 メール及びホームページを活用し、園だよりの掲載、行事についてのお知らせ等を行った。(メールは、登録制で在園児保護者のみ配信)</p> <p>●子育てに関する情報提供</p> <p>【幼保・ラ】 在所(園)に限らず、地域へ子育てに関する情報提供をした。</p> <table border="1" data-bbox="1283 1267 1928 1391"> <thead> <tr> <th>ラ</th> <th>提供した</th> <th>提供しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>28 (90%)</td> <td>3 (10%)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>25 (81%)</td> <td>6 (19%)</td> </tr> </tbody> </table>	ラ	提供した	提供しなかった	R1	28 (90%)	3 (10%)	H30	25 (81%)	6 (19%)
ラ	提供した	提供しなかった									
R1	28 (90%)	3 (10%)									
H30	25 (81%)	6 (19%)									

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果												
③相談支援の実施と関係機関との連携(継続)	<p>【相談支援に関する情報提供】 子育て支援センターや幼稚園、保育所(園)等で実施する相談支援に関する情報提供のほか、「NP 講座」や「初めてのママ講座」等の開催を周知した。</p>	<p>【相談支援の実施】 子育てに不安のある保護者の相談対応のほか、必要に応じて地区担当保健師、小学校、療育機関等の関係機関と連携を図った。</p> <p>●相談支援の実施 [幼保・リ] 子育てに対して相談にのったり、関係機関と連携を行ったか。</p> <table border="1" data-bbox="1283 480 1928 603"> <thead> <tr> <th>リ</th> <th>行った</th> <th>行わなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>31 (100%)</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>31 (100%)</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	リ	行った	行わなかった	R1	31 (100%)	なし	H30	31 (100%)	なし			
リ	行った	行わなかった												
R1	31 (100%)	なし												
H30	31 (100%)	なし												
④総合的な支援の推進(強化)	<p>【保育士等への各種支援の周知と実施】 必要により、各種支援事業に関する事業の改善を図った。 ※ 各種支援: 子育て支援センターの一時預かり、健康相談、子育て相談、一人親への支援等</p> <p>●児童と常に接している保育士を活用し各種支援を周知した。 ・年度初めの所長・園長会議で各種支援、新規事業等について説明 ・保育士から保護者に対し、「NP 講座」や「初めてのママ講座」を周知・参加勧誘</p>	<p>【保護者や地域への周知】 子育て支援センターや幼稚園・保育所(園)等における支援事業内容を見直し、保護者に周知した。</p> <p>[幼保・ル] 次の取組の中でどれだけ実施したか。 ・「総合サポートシステムを中心とする各種支援事業について保護者に伝えた。」 ・「必要な人に個別に声掛けをした。」 ・「施設内に事業についてのポスター・パンフレット等を置いた。」</p> <table border="1" data-bbox="1283 999 1917 1121"> <thead> <tr> <th>ル</th> <th>3つ</th> <th>1・2つ</th> <th>なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>12 (39%)</td> <td>18 (58%)</td> <td>1 (3%)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>12 (39%)</td> <td>18 (58%)</td> <td>1 (3%)</td> </tr> </tbody> </table>	ル	3つ	1・2つ	なし	R1	12 (39%)	18 (58%)	1 (3%)	H30	12 (39%)	18 (58%)	1 (3%)
ル	3つ	1・2つ	なし											
R1	12 (39%)	18 (58%)	1 (3%)											
H30	12 (39%)	18 (58%)	1 (3%)											